

3. フレックストラベラー制度に関する情報

「フレックストラベラー制度」について

制度の趣旨

オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)発生時における旅客の取扱いに関する統一的な手続を定めることによって、オーバーセールスに対する公平かつ円滑な解決を実現し、利用者利便の向上を図るものである。

制度の概要

- (1) オーバーセールスの発生が判明した時点で、自主的に予約便への搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。
- (2) 募集に応じて搭乗を実際に取りやめる旅客に対して、一定の協力金等を航空会社が支払う。

フレックストラベラー制度の状況

会社名		不足座席数(注1)	自主協力旅客数(注2)	搭乗できなかった旅客数	搭乗できた旅客数 (全輸送人員)	全輸送人員に占める搭乗 できなかった旅客の割合 (1万人あたり)	
				(不足座席数 - 自主協力旅客数)			
日本航空(注3)	H17.7~9	906	881	25	10,652,429	0.02	
	H16.7~9	1,257	1,200	57	10,951,226	0.05	
全日本空輸(注3)	H17.7~9	3,196	2,505	691	12,214,075	0.57	
	H16.7~9	2,722	1,969	753	11,789,210	0.64	
日本トランスオーシャン航空	H17.7~9	197	193	8	725,011	0.11	
	H16.7~9	26	25	1	1,028,558	0.01	
ジャルエクスプレス	H17.7~9	71	71	0	312,126	0.00	
	H16.7~9	39	39	0	308,733	0.00	
北海道国際航空	H17.7~9	34	33	1	379,641	0.03	
	H16.7~9	8	8	0	276,525	0.00	
琉球エアークommuter	H17.7~9	4	5	0	59,940	0.00	
	H16.7~9	4	3	1	61,584	0.16	
日本エアコミューター	H17.7~9	38	38	0	380,051	0.00	
	H16.7~9	15	15	0	357,063	0.00	
北海道エアシステム	H17.7~9	未発生					
	H16.7~9						
エアー北海道	H17.7~9	未発生					
	H16.7~9						
スカイネットアジア航空	H17.7~9	32	32	0	282,531	0.00	
	H16.7~9	平成17年2月搭乗分より実施					
合計	H17.7~9	4,478	3,758	725	25,005,804	0.29	
	H16.7~9	4,071	3,259	812	24,772,899	0.33	

(注)1. 不足座席数 = 搭乗手続きに来た予約客の数 - 提供座席数

2. 自主協力旅客数とは、航空会社の募集に応じて、当初予定していた便への搭乗をとりやめた旅客の人数をいう。

3. 「日本航空」は、日本航空ジャパン、日本航空インターナショナル及びジェイエアの合計、また、「全日本空輸」は、全日本空輸、エアーニッポン、エアーネクスト、エアーニッポンネットワーク及びエアーセントラルの合計。但し、H16.7~9月分にジェイエア、エアーネクスト及びエアーセントラル分は含まれていない。